



2020年

みやま

第261号

病院理念

『患者さまの不安をとること』

当院の基本方針

「地域に根ざした安心できる医療」

「精神科医療の充実」

「老人医療」医療と福祉の結合

医療法人社団光生会 平川病院

本年の標語 『学びと感謝を常に忘れず 医療に対し誠実な病院 ～それが平川病院～』

(ホームページ) <http://www.hirakawa.or.jp/> (e-mail) hhsp1966@violin.ocn.ne.jp



【右】2020年2月9日（日）開催「全関東八王子夢街道駅伝競走大会」に出場した院長と当院陸上部（関連記事は次号）

令和2年の平川病院の目標

年の始まりはなんとなく、わくわくして嬉しいものです。どんなことが起きるかわかりませんが、今までの経験や知恵を駆使して、全部、乗り越えていこうと思います。毎年、それなりのスキルと人材、ステイタスが上がってきて、総合力は確実についてきていると思います。中でも、当院のスタッフのスキルアップは、私が驚くほどです。本当に、平川病院は良い人材が育ってきていると思います。

さて、そのような中で、当院の主要機能として、以下の11項目を挙げます。

- 1、急性期精神科医療
- 2、地域移行、地域生活支援（デイケア、外来、美山ヒルズなどを統括）
- 3、南多摩医療圏認知症疾患医療センターに相応しい病院機能の確立
- 4、子供から大人までの視点での発達障害への取り組み、八王子にシステム構築
- 5、身体合併症の受け入れ、地域の連携の要として、最後の砦として機能
- 6、アルコール・薬物依存研究所の創設
- 7、内科療養病棟を中心とした訪問診療
- 8、災害精神科医療体制の準備
- 9、非薬物治療の充実
- 10、クロザピンの使用拡大
- 11、mECTの他院との連携体制の構築

今年も、難関が待ち構えていると思います。希望を胸に、勇気をだして、正面から突破していきたいと思います。

院長 平川 淳一

【表紙】院長挨拶【P2】病棟たより（アネックス病棟）【P3】薬剤科から【P4】地域生活支援室より【P5】訪問看護利用者様における災害アンケート【P6】職員インタビュー

アネックス病棟の自慢

他の病棟が同じ質問をされたらどう答えるのかな。2、3思いつくことを話します。アネックスの病棟ホールや職員休憩室からの見える眺望は他の病棟と比較しても一番であると思う。近くの山の木々が四季折々に変化していく。春から夏は新芽の青々とした緑色が鮮やかである。秋になると赤や黄色へと変わり木々の紅葉を楽しむことができる。また冬になり、雪が降った日には一面が銀世界となり、「ここは本当に東京なのか？」と思わせる景色へと変化します。アネックスから見える外の風景は患者様やご家族、職員の心を癒してくれます。冬になると空気も澄んでくるため、新宿の高層ビルまでよく見える。そしてその先のスカイツリーをもしっかり確認することができる。



病棟からの景色

アネックス病棟は認知症病棟であるが、これと言ってハード面には特徴がない。一直線の廊下が病棟の真ん中にあり、その両サイドに各患者様の部屋が設置されている。数年前と比較して個室病棟や個室トイレが増設された。かつては寝たきりの患者様が大多数占めていたが、現在は歩ける患者様が多く入院されている。その方達の憩いの場所となっているところがある。廊下に点々と置かれているソファである。一人用から3、4人用と大小バラバラであるが、そのソファに患者様が多く集まり、談笑されている姿を見かける。



「棟内を歩き回る患者様に、いつでも休める場所があるといい」と、もともとは院長先生の提案。患者様からすると「いつでも休める」と思え安心できているのだと。癒しのスペースのように男女問わず多くの患者様が座り、集まり、和やかな雰囲気でお話をしている。また職員と患者様のコミュニケーションの場としてもとても有効に使用されていると思う。これも治療のための環境を考えた事がいい効果を生んでいるのだと。廊下にこのような数のソファが置かれている病棟はないと思う。自慢のひとつと言え得る。

アネックス病棟 師長 真島 智

ウイルス感染症などの感染対策を考える

薬剤科から

私がこの原稿を書いている1月の下旬、各報道では中国での新型コロナウイルスの蔓延が伝えられており、世界的な流行（パンデミック）が起こると言われています。その中には不確かな憶測も流れ、まだ全体像が見えていない事も不安の1つです。今回は、中国でも大都市である町であることや、旧正月でのべ人数で30億人が移動するというタイミングでの流行というのも気になる所です。

当院でも、冬季のこの時期はインフルエンザや感染性胃腸炎など最大限気を付けてはおりますが、それでも完全には防ぎきれないのが現状です。市中でも、多くの人が気を付けてはいてもこの時期はインフルエンザや感染性胃腸炎が流行ってしまいます。

今回の件もそうですが、出来ることを対策として行っていくしかないのが現状です。インフルエンザでは、ワクチンや抗インフルエンザ薬がありますが、ノロウイルス感染症ではこの2つが無く、今回の新型コロナウイルス感染症とこの点



Norovirus [1]
© SARAYA CO., LTD.

で共通しています。ただし、コロナウイルス感染症ではインフルエンザと同様にくしゃみ等か

ら感染する飛沫感染がメインとなっていそうです。そういった面では、インフルエンザとノロウイルスの嫌な所を併せ持った感染症です。

それでも対策はあります。まずは手洗いうがい重要です！そして、混雑を避ける事で直接的なリスクを減らす事も重要です。コロナウイルスは今回『新型』という事で今まで

のタイプとは異なるようですが、コロナウイルス自体は今までも身近にあった感染症で、冬季の『風邪症候群』の3割ほどはコロナウイルスが原因と言われています。感染経路はくしゃみなどのしぶきからうつる飛沫感染がメインでそれ以外にもウイルスが残るドアノブなどから接触した手などを介する接触感染、まだよく分かっていないようですが、一部は空気感染もあるとも言われています。

感染症対策では、相手を知りそして正しく恐れ、早期発見早期対策、そして正しい情報を周囲につたえる事が重要だと改めて感じています。



薬剤科 科長 大塚 晃弘

| 月毎にテーマを決めて訪問しています

地域生活支援室より

当院では月曜から金曜、隔週の日曜に訪問看護を実施しています。外来・病棟看護師と作業療法士、精神保健福祉士で構成され、市内を訪問しています。

患者様は20～80歳代と幅広く、デイケアや作業療法（以下OT）、就労に向けた訓練事業所に通われている方、介護保険サービス利用の方など、現在約53名の方が登録されています。

訪問看護では、精神面や服薬に関する相談、身体疾患や運動機能障害への対応、生活支援など多岐に渡った対応をしています。訪問看護で取り扱う話題は多いためバランスのよい支援になるように、今年度からこれまでの個々の支援に加え、月毎に患者様共通のテーマを決めて取り組んでいます。テーマを決めるにあたり、OTやデスタッフの協力を得て、各々のプログラムと連携できるような内容や実施時期を工夫しました。例えば、8月は水分摂取量の確認を行いました。摂取量が多すぎる方、少なすぎる方、総摂取量としては問題ないけれど、摂取間隔があき過ぎている方など様々でした。そこで該当する方毎に水中毒や脱水の注意を促す案内を渡し、注意喚起を図りました。11月は手洗いの実施状況です。殆どの方が病棟やOT、デイで何度も練習していました。ところがご自宅では、全く洗わない、水洗いだけ、指先を濡らすだけ、石鹸がない、石鹸の泡立て



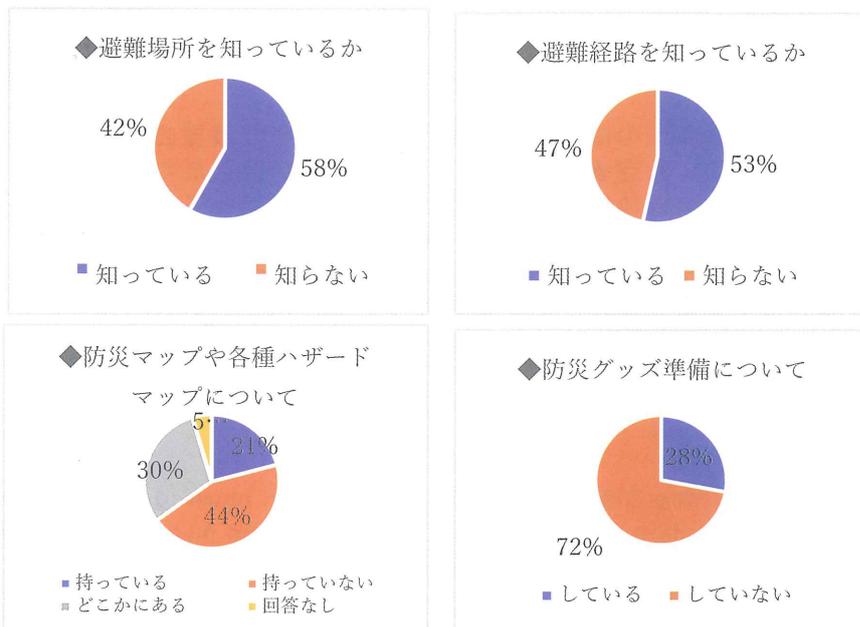
ができない…これらの状況は、この取り組みによって分かったことです。まだ感染症に注意する時期が続きます。引き続き、生活の中で手洗いの徹底をお願いしていきます。月毎のテーマに沿った支援を始めた当初は、「何故こんなことを聞くの?」といった質問もありました。しかし今では、「今月のテーマは何ですか?」と仰ってくださいる方もあり、趣旨を理解していただいていると認識しています。毎月の結果はミーティングで共有し、来年度に向け検討中です。

地域生活では、健康管理や家事だけでなく、1人で近隣クリニックに受診する、書類申請をする、公共交通機関を使う…等など様々なスキルが必要になります。医療的支援と合わせて患者様が自身の力を発揮できるように、また院内の取り組みを生活の中に生かせるような支援を心掛けたいと思います。

地域生活支援科 作業療法士 犬井 良子

訪問看護利用者様における災害アンケート

昨年10月の台風では、八王子において河川の氾濫や浸水などの被害があり皆さんも記憶に残っているのではないのでしょうか。訪問看護を受けている利用者様の中では、近くの学校へ避難した方もいらっしゃいました。この災害を機に、今後どのような支援や準備が必要なのかを検討する為に訪問看護を利用している方43名にアンケートを実施しました。その結果の一部を報告したいと思います。



アンケートの結果、避難場所や避難経路を知らない方が半数でした。また、その避難場所が記載された防災マップを持っている方は21%でした。今回初めて近所に浅川があることを知った方もいました。その為、防災マップを用いて居住している地域はどんな地形なのか、また、一緒に場所・経路に関しても散歩がてらに歩いて確認していきたいと思いました。

防災グッズを準備している方は28%でした。しかし、表で載せていませんが懐中電灯を持っている方は全員でした。必要最小限で準備するものを確認し、必要なものが必要な時に使用できるように環境も考えていきたいと思いました。今回の災害を機に一緒に考える機会となりました。今後も期間を決めて、考える場を設けていきたいと思います。

こんなこともありました

10月の台風では美山町も避難勧告がでました。病気を抱えて体力的に避難が難しいという相談が地域のクリニックから当院に入りその日に緊急で当院に入院するといったことがありました。本人もご家族も安心した一夜を迎えることができましたそうです。これからも地域に根ざした病院づくりをしていきたいと思います。

職員インタビュー (Nhân viên Cuộc phỏng vấn)

インターナショナルスタッフ：ハー ティ トウ フオンさん【ベトナム国籍】
(HA THI THU HUONG)

私は看護大学を卒業しています。日本の看護インターンシッププログラムを知ったとき、それが私の将来の道だと思いました。私と家族のより良い未来のために故郷を離れて日本に住み、仕事をすることにしました。日本はベトナムと比較して病気の人の世話をすることに関する環境が整っていると思います。今、私はより多くの新しい知識に触れ、多くの人から多くの教育支援を受けています。みなさんの熱心な指導を受け、もっといろいろと実践してみる必要があると思っています。将来ベトナムに戻るとき、日本で学んだことを持ち帰り、祖国と私の家族に奉仕します。今の私は多くの経験と多くの欠点があり、それらを補足し、より多くを学ぶ必要があると思っています。



ベトナムと日本、言語と文化については多くの違いがありますが、私たちが積極的に学び、友達を作り、交友する限り、壁は無いと思います。私自身は現在、この土地に長い間こだわり続けるためにもっと努力する必要があると思っています。人々に私の人生と仕事の努力を知ってもらいたい。患者さんに信頼と満足をもたらす、同僚から信頼を得るため。そして誰もがベトナム人の将来を見ることができるよう最善を尽くしたい。私はそんなひとりの看護研修生です。次のベトナム人が私たちのような夢を追求するために、日本に来る機会を得るための道を開くために、私は努力します。どうもありがとうございます。

【ベトナム語 (Việt)】

NỖI NIỀM

Tôi một sinh viên tốt nghiệp trường Cao Đẳng Điều Dưỡng. Khi biết đến với chương trình thực tập sinh Điều Dưỡng tại Nhật Bản tôi đã quyết định đó là con đường tương lai của mình. Tôi cùng với các bạn của mình đã cùng nhau quyết định rời xa gia đình, quê hương để đến Nhật Bản sinh sống và làm việc. Tất cả là vì gia đình và vì một tương lai tốt đẹp hơn. Tôi đến Nhật Bản làm việc nơi nền y tế chăm sóc sức khỏe con người tốt nhất nhì thế giới để xem cách người Nhật chăm sóc một người bệnh như thế nào so với Việt Nam có gì giống và khác nhau. Từ những cái tôi đã được học ở Việt Nam xang đây tôi lại được tiếp xúc thêm nhiều kiến thức mới hơn nhận được nhiều sự giúp đỡ giảng dạy từ mọi người. Từ sự nhiệt tình hướng dẫn của mọi người tôi biết tôi cần phải cố gắng nhiều hơn nữa. Để sau này ngày trở lại Việt Nam tôi sẽ mang những gì tôi học hỏi được từ nơi đây về phục vụ cho quê hương đất nước và cũng chính cho gia đình người thân của tôi. Khi làm việc tại đây tôi thấy mình chưa có nhiều kinh nghiệm và còn nhiều thiếu sót cần phải bổ sung và học hỏi nhiều hơn.

Hiện tại tuy còn nhiều bất đồng về ngôn ngữ và văn hoá, nhưng chỉ cần chúng ta học hỏi, kết bạn, giao lưu thì mọi thứ không còn là rào cản. Bản thân tôi hiện tại cần phải cố gắng nhiều hơn nữa để có thể gắn bó lâu dài với mảnh đất này. Và để mọi người có thể nhìn thấy được sự cố gắng của tôi trong cuộc sống và công việc. Để đem lại sự tin tưởng và hài lòng đến với người bệnh và nhận được sự tin yêu từ đồng nghiệp. Và lời sau cuối chúng tôi những Thực Tập Sinh Điều Dưỡng sẽ cố gắng hết sức mình để mọi người có thể nhìn thấy sự nhiệt huyết tương lai từ con người Việt Nam chúng tôi. Để mở đường cho những người Việt Nam tiếp theo có cơ hội đến với Nhật Bản theo đuổi ước mơ như chúng tôi... Xin trân thành cảm ơn

編集後記

節分が過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続くと書きたいところですが、今年は確かに暖かい。各家庭にどんな行事をしますかと調査をした所、クリスマス7割、母の日の6割には及ばないもの節分がバレンタインに肉薄し4割という数字になるとのこと。節分と言えば、豆巻きですが、最近では「恵方巻き」が注目され、かなり経済効果に貢献しているとのこと。我が家でも「恵方巻き」は買いますが、切って食べます(笑)。今年も除雪隊の招集がなく嬉しいやら寂しいやら・・・良かったことにしておきましょう。

医療法人社団光生会 平川病院

東京都八王子市美山町1076

電話 042-651-3131

FAX 042-651-3133

編集 平川病院 広報委員会

ご意見ご感想はこちらへお願いします

kouhou@hhsp1966.jp

